

これからも成長し続ける人に

校長 森 和 久



お子様の卒業、まことに
おめでとうございます。

6年生の皆さんは、本校
の最高学年としての自覚を

もち、学校行事や委員会活動、縦割り清掃など様々な
場面で、責任ある行動を取ってくれました。職員一同
賞賛と感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、新型コロナウイルスに関わる休校措置によっ
て、小学校最後の貴重な期間が登校できないこととな
ってしまいました。また、卒業生、在校生ともに練習
に取りかかっていた卒業式も学級ごとの実施といたし
ました。保護者の皆さま、お子様には、大変寂しい思
いをされていることと存じます。私たちも大変残念に
思っているところですが、感染防止の観点からのやむ
を得ない措置であることをどうぞご理解賜りますよう
お願いいたします。

卒業式後も、感染防止に留意して過ごすことが必要
となりますが、このような前例のない事態に際し、冷
静に情報収集し、どのような行動をとったらよいのか
を考える機会としていただければと存じます。

こうした不安な状況下では、的確な情報収集と冷静
な判断が重要になります。不安が増大しパニックに陥
ったり、デマに惑わされたりすることの危険性は、過
去の多くの事例が物語っています。また、不安のあま
り、他者の人権に対する配慮を欠いた言動が出やす
くなるということも、過去に数々の事例があります。そ
うしたことも併せて考えていただけるとよいと思
います。

本校におきましては、右に載せましたように、毎月
生活指導上のめあてを示して参りました。これらのめ
あては、3月の「成長のしかたを考えよう」を集大成
とする、お子様が自らの成長のために考えるべきステ

ップとして構成しております。そして全体を貫いてい
るのは、「自分で自分のことを考える」という考え方
です。

月々のめあては、例えば「ルールを守りましょう」
「挨拶をしよう」というように何かの行動を直接的に
求めるめあてにはなっていません。「ルールについて
考えよう」のように、あくまでも自分で考え、考えた
結果で自分をコントロールしようというめあてです。

子どもの成長について強い影響を与えているのは才
能か環境かというような論点が昔からあります。しか
し、そのどちらにも子ども自身の自己決定の視点が欠
けがちです。自分をふり返って何をすべきか考える、
自分の周りを見渡して周囲の環境をどうすべきか考
える。考えた結果で、自分の行動をコントロールする。
さらに、その結果をふり返り、どうすればいいか考
える。このようなサイクルを確立することが、自分を成
長させることにつながります。

才能がないからできないとか、環境が悪いからでき
ないと考えるのではなく、自分がどうありたいか、ど
うなりたいか、そのためにどうするのかというように、
自分は自分の成長
の決定者であり主
体者であるという
考え方を身につけ
ることが、成長に
は大事なことだと
考えています。

- | |
|------------------|
| 4月……めあてを考えよう |
| 5月……間をおいて考えよう |
| 6月……ルールについて考えよう |
| 7・8月……相手のことも考えよう |
| 9月……マナーについて考えよう |
| 10月……協力のしかたを考えよう |
| 11月……考えたことを守ろう |
| 12月……周りのことも考えよう |
| 1月……新しいことを考えよう |
| 2月……ふり返って考えよう |
| 3月……成長のしかたを考えよう |

このような「成
長の仕方」の考え方は、中学に行っても、大人になっ
ても通用する考え方です。小学校で学んだこと考えた
ことを今後も生かし、卒業生のみなさんが一層活躍さ
れることを心より祈念しております。